

## 2020年度 高齢者等見守り活動の取り組み報告書

2021年5月吉日  
生活協同組合コープあおもり  
理事長 小池 伸二

2020年度の1年間（2020年3月21日～2021年3月20日）は、高齢者等見守り活動を通して行政へ52件連絡し、高齢者やその家族が安心して暮らせる地域社会づくりへの支援を推進してきました。

当生協での2020年度の高齢者等見守り活動について、以下のとおり報告いたします。

### 1. 市町村別・年代別の行政への連絡対応件数について

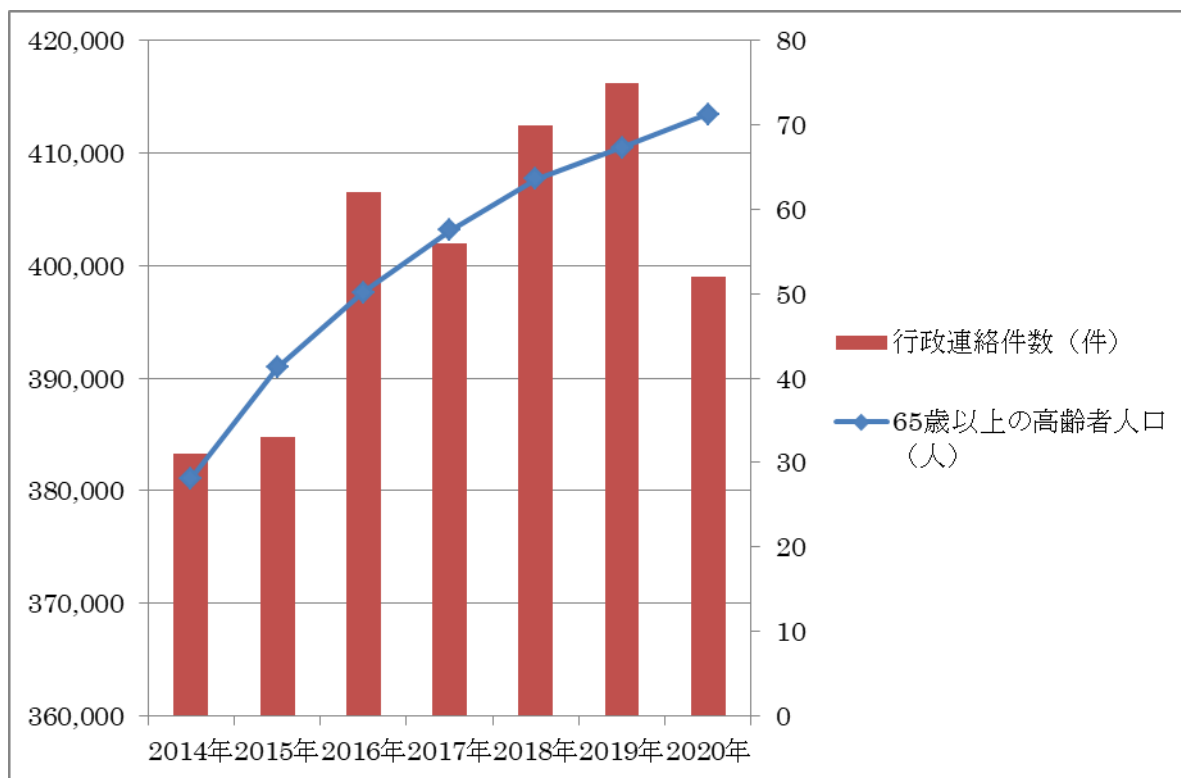
発生市町村	性別	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	計
青森市	男性				2	2	4		8
	女性			1		2	3		6
八戸市	男性						2		2
	女性					1	1		2
弘前市	男性	1		1	4	4	1		11
	女性	1	1				6	1	9
黒石市	女性		2						2
五所川原市	女性						2		2
むつ市	男性						1		1
	女性						1		1
三沢市	男性						1		1
藤崎町	男性				1		1		2
	女性					1			1
階上町	女性			1					1
深浦町	女性					1			1
中泊町	男性				1				1
田舎館村	男性						1		1
2020年度計	男性	1	0	1	8	6	11	0	27
	女性	1	3	2	0	5	13	1	25
	男女合計	2	3	3	8	11	24	1	52
年代別割合		3.8%	5.8%	5.8%	15.4%	21.2%	46.2%	1.9%	100.0%

	性別	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	計
前年差	男性	1	0	-2	-6	0	2	-2	-7
	女性	1	3	0	-4	-6	-5	-5	-16
	男女合計	2	3	-2	-10	-6	-3	-7	-23

(1) 年別 行政への連絡対応件数と 65 歳以上の高齢者人口推移

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
連絡対応件数	31件	33件	62件	56件	70件	75件	52件
65歳以上の高齢者人口 (人)	381,096	390,940	397,618	403,170	407,716	410,505	413,443

※青森県企画政策部「令和2年 青森県の人口」資料参考



- 1) 2020年度は、商品お届け時にいつもと違う状況や異変を察知し、行政に52件の連絡を行いました。
- 2) 2015年9月に40市町村と高齢者等見守り活動の協定を締結してから、行政への連絡対応件数は増加傾向にありましたが、2020年度は前年から23件減少しました。
- 3) 2020年の65歳以上の高齢者人口は増加していますが、連絡対応件数は減少しました。
- 4) 年間で12市町村（前年同数）の行政と連絡を取りました。弘前市が20件（前年差▲7件）で一番多く、次いで青森市が14件（前年差▲1件）でした。
- 5) 年代別では、80歳代が一番多く24件で70歳以上は36件となり、全体の約69.2%を占めました。60歳代以上の連絡対応件数は前年から26件減少しました。
- 6) 連絡対応件数が多い弘前市、青森市、八戸市に高齢者等見守り活動の協定事業者数と連絡対応件数について問い合わせました。3市ともに協定事業者は前年より増加していますが、連絡対応件数は弘前市（前年差▲9件）、八戸市（前年差▲21件）が減少し、青森市が4件増加しました。2020年の連絡対応件数が前年から減少している要因は確認できていません。

(2) 月別連絡件数（毎月 21 日～翌月 20 日）

	20年4月	20年5月	20年6月	20年7月	20年8月	20年9月	20年10月	20年11月	20年12月	21年1月	21年2月	21年3月	計
青森市	2		2		2	3	1	1			3		14
八戸市			1		1						1	1	4
弘前市		1	1	1	4	1		2	2	5	2	1	20
黒石市	2												2
五所川原市						1		1					2
むつ市						1				1			2
三沢市												1	1
藤崎町							1			1	1		3
階上町				1									1
深浦町								1					1
中泊町											1		1
田舎館村		1											1
計	4	2	4	2	7	6	2	5	2	7	8	3	52

- 1) 月別では、2月が連絡対応8件と最も多く、次いで8月と1月で各7件となり、前年も1月、8月は連絡対応件数が多い傾向にあります。
- 2) 1月と2月での対応の中で、入院していた事例が6件で、8月と9月には、残念ながら亡くなられていた事例が2件ありました。

2. 対応の状況について

- 1) 行政に連絡対応後、亡くなられていた方が4人おられました。
- 2) 商品お届け時に前週お届け商品がそのまま残った事例、声掛けしても返答が無かった事例、郵便物が滞留していた事例があり、当生協の担当職員が異変を察知し、行政に連絡したことで判明しました。
- 3) 行政への連絡後に緊急搬送された事例が2件ありました。新聞が滞留していた事例、玄関の電気がついたままで部屋は暗かった事例があり行政に連絡しました。行政の方が自宅を訪問したところ倒れていたため緊急搬送されました。
- 4) 前日お届けした配食弁当がそのまま残っており、行政に連絡したところ、体調不良のため、弁当を食べることができず、当日病院に通院していた事例が1件ありました。翌週月曜日に、警察の方から連絡があり、病院から帰宅後容態が悪化し、自宅で亡くなっていたとの報告がありました。
- 5) 共同購入の商品、配食弁当のお届け当日に入院されていた事例は13件ありました。入院される前に配食弁当のお届け休止や注文商品のキャンセルの連絡がなく、翌日もしくは翌週にそのまま残っていた事例となります。
- 6) 無事が確認できた事例は31件でした。

3. 行政への連絡について

- 1) 当生協の配食弁当は、週3日間以上から配達を行っていることから、前日お届けした弁当の取り忘れ等、いつもと違う状況を察知する場面が多く、配食弁当の利用者で異変から行政に連絡した事例が32件あり、全体の61.5%となりました。
- 2) 当生協では、担当職員から異変発見の報告を受けた場合に、個別の判断を入れず行政に速やかに連絡しています。

3) 商品のお届けを担当する職員は、「認知症サポーター養成講座」を受講し、高齢者等見守り活動に取り組んでいます。

以上、2020年度の高齢者等見守り活動のまとめを報告させていただきます。当生協は、このまとめをもとに、2021年度においても日常業務の中で地域の高齢者等見守り活動の取り組みを推進し、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会づくりを支援していく所存でございます。

今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。

以上